



2026年1月16日

各位

会社名 株式会社メニコン  
代表者名 代表執行役社長 CEO 川浦 康嗣  
(コード番号: 7780 東証プライム市場・名証プレミアム市場)  
問合せ先 執行役 総合統括本部長 CFO 古賀 秀樹  
(TEL. 052-935-1646)

## メニコン 海外向けブランド「Miru 1day UpSide toric」

### 対応規格拡大のお知らせ

当社は、シリコーンハイドロゲル素材の1日使い捨て乱視用コンタクトレンズ「1DAY メニコン プレミオ トーリック」の海外向けブランドである「Miru 1day UpSide toric」において、対応規格範囲を拡大し、欧州市場より順次販売を開始することをお知らせいたします。

乱視は世界的に一般的な屈折異常の一つであり、コンタクトレンズ装用が可能とされる層においても、片眼で $-0.75\text{D}$ 以上の乱視を有する方が54.1%に上ると報告されています※<sup>1</sup>。また、乱視はその程度に加え、軸の方向も視機能に影響を及ぼす要因とされており、特に斜乱視については、矯正されない場合、遠方視力や近方視力をはじめとする視覚機能が、直乱視や倒乱視と比較して低下しやすいことが報告されています※<sup>2, 3</sup>。

欧州においては、使い捨てコンタクトレンズ市場における乱視タイプの処方率が高く、乱視用製品のラインアップ拡充が市場競争力を左右する重要な要素となっています。こうした市場環境を踏まえ、乱視軸の対応規格範囲の拡大を通じて、欧州市場における競争力の強化を図るとともに、より多くの患者様に対し、安定したクリアな視界の提供に寄与することを目指します。

Miru 1day UpSide toric の製品範囲	
球面度数	+0.00D ~ -6.00D (0.25D 間隔) -6.50D ~ -10.00D (0.50D 間隔)
円柱度数	-0.75D, -1.25D, -1.75 D
軸	10° ~ 180° (10° 間隔)

#### 参考文献

※1 Luensmann D, et al.: Spectacle prescriptions review to determine prevalence of ametropia and coverage of frequent replacement soft toric contact lenses, Cont Lens Anterior Eye. 41(5): 412-420, 2018.

※2 Kobashi K, et al.: Effect of axis orientation on visual performance in astigmatic eyes, J Cataract Refract Surg. 38(8):1352-1359, 2012.

※3 Wolffsohn JS, et al.: Effect of uncorrected astigmatism on vision, J Cataract Refract Surg. 37(3): 454-460, 2011.

以上